

### 河合惣兵衛氏の碑(外濠公園)

姫路藩で尊王攘夷派のリーダーの一人として知られた河合惣兵衛元は、中級藩士という身分でした。元治元年(1864)12月、「甲子の獄」という尊王攘夷派の弾圧事件で死刑になりました。もとは、旧河合邸跡(今の場所から北へ200mのところ)にありましたが、昭和43年(1968)に外濠公園に建てがえられました。

行った日



### 空爆の碑

川西航空機姫路製作所の跡地に立つ慰霊碑です。姫路は、昭和20年(1945)6月22日午前10時30分ごろの空襲と、7月3日深夜の空襲で焼け野原になりました。亡くなった人々を供養し、人の命と平和を尊び、戦争が無くなることを願って、平成8年(1996)に城東地区連合自治会が建てました。

行った日



### 国府寺町観音堂(十一面観音菩薩像)

かつて豊城山桜谷寺の観音堂にまつられていました。姫路城の殿さまだった本多家にゆかりがあります。明治41年(1908)、4回目のお寺の大修理のあとに、町の人たちが観音さまを信仰する団体をつくってまつりました。昭和4年(1929)、心光寺に引き継がれるときに、町の人たちの希望で菩薩像を譲ってもらいました。

行った日



### 真宗寺

明和6年(1769)、播磨国飾東郡国府寺村宇屋総道場、真宗寺として認められ、本願寺から木でつくった仏像が贈られました。大正7年(1918)に日本毛織という会社の建物を建てるため、堀を埋めて今の場所に移りました。境内に大正15年(1926)に建てられた国府遺蹟碑があります。

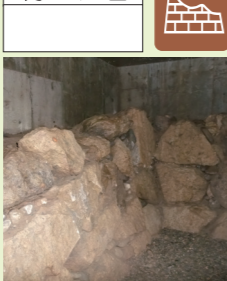
行った日



### 外京口門跡

姫路城の外曲輪にある五つの門の一つです。京都へ通じる道にあるので「京口」となり、中曲輪の内京口門に対して「外」と名づけられました。鉤型のかかった枡形をした門で、明治時代に取りのぞかれましたが、その跡地には東光中学校が建ち、体育館地下には石垣の一部が今でも残っています。

行った日



城東地区

調べたこと、  
分かったことを  
書いてみよう!



# 1 城東地区



外堀川が流れているところが姫路城の「外堀」でした。昔は堀の内側(小学校から西側)までが姫路城の城下町だったんですね。どこに城下町に入る門があったのか、なぜお寺が多いのかを調べてみましょう。



- 遺跡・史跡
- 歴史上の名所
- 神社・仏閣
- 歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り
- 伝承行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他

0m 250m 500m

### 外堀川

姫路城を囲む三重の堀のうち、中堀と外堀の間を外曲輪といいます。外堀は、清水門から船場川を利用しながら南へ下り、南の方は山陽本線の北側を東へ流れていました。東の方は外京口門を北へ向かい、竹之門を過ぎて野里で終わっています。堀の終点を堀留といいます。

行った日

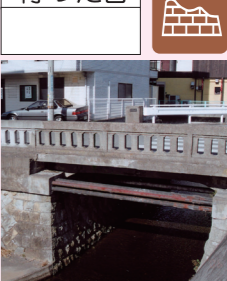


etc

### 竹之門跡

この門が外堀の東北の方角(鬼門といいますが)にあるために、鬼門というよび方を嫌って木の門(鬼門)から転じて竹の門(他家の門)といいました。南から北に向かう堀がここで大きく西へ曲がり、堀の終点となる堀留へと続いています。

行った日



### 寺町すじ

姫路城の東側には多くのお寺が集まっています。池田輝政が姫路城を建てるときに、この地域にお寺を集めました。東からの攻撃にはお寺に兵隊を入れて外京口門の守りとし、西からの攻撃にはここを最後の砦とするためであったといわれています。

行った日



### 白山神社

元文元年(1736)に城東町宇屋に建てられた神社です。文政12年(1829)にお宮を建て直し、明治7年(1874)に村のお宮になりました。大正7年(1918)に今の場所に移り、平成2年(1990)から建て直しをして平成9年(1997)に完成しました。姫路でただ一つの白山姫命をまつる神社です。

行った日



### ひるつきどうあと 昼着堂跡

奈良時代の終わりごろに、稚日女尊に、大歳神と宇迦之御魂神をあわせてまつり、ヒルツキ(日月社)とよばれた古いお寺です。天正9年(1581)、羽柴秀吉が昼九つの時間に到着したことから昼着社とよばれるようになりました。秀吉が座った「太閤石」は城東小学校の南にある五社稲荷神社に今も残っています。

行った日

